

H26
7月

みちづくりかわら版
第100号

地域の夢と希望のみちづくり 平成25年12月25日発行

京都府道路公社建設事務所

祝！みちづくりかわら版100号達成記念号！



このたび、みちづくりかわら版がめでたく記念の第100号を迎える運びとなりました。お祝いの言葉をいただいておりますので紹介させていただきます。



公共事業は府民と共に～100号発行に寄せて

まずもって記念すべき100号発行、おめでとうございます。宮津与謝道路建設中の平成17年5月から、8年7ヶ月の歳月をかけて継続してきた皆さんに心から敬意を表します。思い起こせば、丁度この時期に当時の京都府土木建設部では『こんすと通信』（平成18年3月1日～）が発刊され、更に『府民と親しみ参加する公共事業』（平成18年4月～）の取り組みがスタートしました。

これらの取り組みは、当時公共事業が年々減少する中で、自分たちの仕事にしっかり自信を持ち、情報を共有し、そして府民の皆さんに知って貰い、理解してもらおうとの思いからのスタートだったと思います。

『継続は力なり』と言われる。常に初心に立ち返り、ともすれば『悪役』の評価を受けてきた公共事業の素晴らしさを今後共アピールし続けて下さい。

京都府道路公社理事長 神 敏郎



祝100号「みちづくりかわら版」を祝って

平成17年5月に1号が発行されてから、今回で100号、8年7ヶ月間の諸先輩方の歴史の積み重ねの中での達成ということで、今回の発刊に携わる事ができ、大変ありがたいことと感じております。

当初は、宮津与謝道路の第12トンネル工事を契機に発刊されたと聞いております。その宮津与謝道路も平成23年3月に供用を果たし、現在は、野田川大宮道路の事業を進めております。

どちらの道路にいたしましても、北部の府民にとっては期待の道路であり、野田川大宮道路の平成28年度の供用に向けて、邁進して参りたいと考えておりますので、みなさまのご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

京都府道路公社建設事務所長 吉岡 正男



『建設現場の熱い思いを「みちづくりかわら版」に載せて』



「みちづくりかわら版」ついに100号までできたか・・・。

当時、ある職場（京都府の後輩職員）の仲間から、「道路公社建設事務所はどんな仕事をしているのか？」と質問を受け、「これは何とかせねば！」というのが発刊のきっかけです。

張り切って発刊はしたものの、広報については全くの素人の私は、記事の構成に苦労し悩んだものでした。各工区の状況写真を、カメラマンのようにシャッターを切りまくりました。また、トンネル用語や掘削工法等、基本用語についても連載しました。そのこともあり現場状況の把握、また、技術面のスキルアップにも繋がったように思います。

少しでも事業のPRをとの思いで、必ず「無事故・無災害で完成を」との決意と願いを込めて記事を作成し、ことある毎に、地域・関係機関に配布し事業のPRをしました。

京都の北から南へと府民の熱い主軸が、見事に完成するまで発行が続きますように。今一度、「無事故・無災害」での見事完成を決意して・・・。

「ご安全に！」

京都府道路公社建設事務所技術次長 藤田 直也（初代編集長）

現在の施工状況

・（仮称）野田川橋梁 橋台・橋脚等の下部工と橋桁等の上部工工事を進めています。

下部（その4）工事（P9・P10橋脚）金下・田中・世紀JV：工事が完成しました。

下部（その5）他工事（A2橋台他）河守・世紀JV：工事が完成しました。

上部（その2）工事（P6～A2）川田・宮地JV：東岸側（P7橋脚付近）でベント（仮受台）の設置が完了しました。

・与謝天橋立IC消雪設備（その3）工事 奥滝電気（株）：工事が完成しました。

（その4）工事（株）澤土木：工事が完成しました。

・与謝天橋立IC築造（その1）工事 河嶋建設（株）：水路の設置を行っています。

・（仮称）第14トンネル工事 大林・公成・吉川JV：トンネルの掘削延長は1,140メートルです。二次覆工は625メートルです。

（12月20日現在）



こならちゃん

12月には一気に4つの工事が完成しました。

野田川橋梁P10橋脚の見学会を行いました。

12月6日（金）に野田川橋梁P10橋脚の現場において、地元の石田区民の皆様を対象とした見学会を受注者（金下・田中・世紀JV）の主催で開催しました。

高所恐怖症の方を除いた方々は、転落防止のための安全帯を装着の上、地上20m以上の橋脚の頂上まで登っていただきました。

普段見ることの出来ない場所にみなさん興味津々でした。



裏面もご覧ください。

山陰近畿自動車道(野田川大宮道路) 着工前との比較



凡例

完成箇所	■
施工中箇所	■
未着手箇所	■